

令和3年度 保健体育科の評価について

1 評価の観点

(1) 知識及び技能

運動の行い方や健康・安全の確保の仕方などの知識を基に運動の技能を身につけたり、理解を一層深めたりするなど、知識と技能を関連させて学習すること

(2) 思考力・判断力、表現力等

学習した内容を、学習場面に適用したり、応用したりし、言語や文章などで表現すること

(3) 主体的に学習に取り組む態度（学びに向かう力、人間性等）

公正に取り組むこと、互いに協力すること、自己の役割を果たすこと、認め合うこと
健康・安全に留意し、運動に積極的に取り組み、自己の最善をつくして運動する態度のこと

2 評価の方法

(1) 観察

みなさんの学習の状況を見ながら判断していく方法。態度(取組)・技能・提出物などは誰が見ても一目瞭然ですので、きちんとした態度で意欲的に取り組みましょう。

(2) テスト

必要に応じて習熟度を確認する方法。一定期間練習したことを確認し、「技能」を見ます。
また、期末テストでは、基礎となる「知識」を見ます。

(3) ワーク、学習カードの記入・提出状況

毎時間のめあてや学習の確認、学習への取り組みの自己評価の記入状況・内容について確認する方法。自己評価が適切に行われているかも見ています。記載された内容で、みなさんの理解度、思考力等も確認しています。原則、カードは毎時間提出です。

<評価項目例>

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度 (学びに向かう力、人間性等)
評価の 観点	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かす楽しさや心地よさを味わう。 ○球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。 ○技をよりよく行う。 ○記録の向上や競走の楽しさや喜びを味わう。 ○作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習した安全上の留意点、他の場面に当てはめ、仲間に伝えること。 ○自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶこと。 ○練習やゲームで、フェアなプレイなどのよい取り組みを見つけ、理由を添えて他者に伝えること。 ○仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見つけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全に気を配り、運動に積極的に取り組んでいる。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ○勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ○フェアなプレイを守ろうとしている。 ○練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助している。 ○作戦などの話合いに参加しようとしている。
評価の 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○観察（授業の様子、積極性など） ○定期テスト、技能テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察（授業の様子、積極性など） ○学習カード ○定期テスト、技能テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察（授業の様子、積極性など） ○学習カード、ワーク等の提出物 ○定期テスト、技能テスト

3 保健体育の学習を進めていくときに大切なこと

(1) 自分から進んで学習に取り組む。

- 授業は積み重ねです。一つ一つの授業を大切にしていきましょう。
- 得意不得意関係なく、様々な運動に積極的に取り組みましょう。
- 「どうしたらいいか」「なにをしたらいいか」等の自分の課題を見つけ、改善しましょう。

(2) 約束は守る。

- 授業のルールやマナーをきちんと守る。→ 安全面の確保につながります！
例) 体育館に入る、床に座る時は「失礼します!」、指示があったら「ハイッ!」と返事、バスケットボールを蹴らない、バットを投げない、など
- 学習カード・保体ワーク等は、遅れずにきちんと提出する。→ 提出状況は成績に反映します!
- 授業のときに忘れ物をしない。授業の始まりに遅れない。→ 授業5分前には整列します!
- 見学する場合は、授業前に必ず担当の先生に報告する。→ 「見」て「学」ぶ時間です!

(3) 爽やかな態度・服装を心がける。

- 基本は、Tシャツ・ハーフパンツです。冬場や気温が低い日では青ジャージ等を着用し、防寒対策をして授業を行います。気温に準じた服装を心がけましょう。
- 靴は、ランニングシューズです。スニーカー等、運動に適していない靴は危険です。
- 頭髪・つめ等は、学校生活に準じているので、長くなる前に切る、束ねるなどしましょう。

(4) 仲間と教え合い、助け合って学習する。

- 友達大切な協力者です。お互いに観察し合ったり、助言し合って、持っている力を伸ばしていけるようにしましょう。

◇持ち物◇

ハンカチ（ポッケに入る大きさ）、タオル、水筒、筆記用具、ファイル、帽子（熱中症予防）
※外で行う授業では、ファイルと筆記用具は必要ありません。

◇最後に◇

できないことがあって当然です。失敗は恥ずかしいことではありません。できるようにくり返し練習したり、新しいものに挑戦したりしながら、自分の力を伸ばしていくことが大切です。周りの友達も「どんまい」や「次頑張ろう」と声をかけて、お互いが気持ちよく体育の授業に取り組める雰囲気を作っていきましょう。